

## 淡江大學 107 學年度第 1 學期課程教學計畫表

課程名稱	日本安保研究(一)	授課 教師	胡慶山 HU CHING-SHAN
	JAPAN SECURITY RESEARCH (I)		
開課系級	日政經碩專一 A	開課 資料	選修 單學期 2學分
	TRGXJ1A		
系 ( 所 ) 教育目標			
<p>培育國內外通曉日本政經之高級實務與學術人才，並導引師生致力於日台法政與經貿關係之發展，協助促進國家安全與發展。</p>			
系 ( 所 ) 核心能力			
<p>A. 具備英日文能力。</p>			
課程簡介	<p>日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。</p>		
	<p>Japan's security is closely related with the security of Taiwan, given the importance of this, the course will examine these issues on the security of Japan.</p>		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、  
C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、  
P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、  
A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，  
惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」  
對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應  
「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。  
(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。	Japan's security is closely related with the security of Taiwan, given the importance of this, the course will examine these issues on the security of Japan.	C3	A

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。	講述、討論、問題解決	報告、上課表現

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◆ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◆ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◆ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◆ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◆ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◆ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◆ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◆ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	107/09/10~ 107/09/16	安全保障的概念(2016年日本の防衛と予算 - 平成28年度予算の概要 -)	
2	107/09/17~ 107/09/23	戰爭與和平的理論(2015年日本防衛と予算)	
3	107/09/24~ 107/09/30	國際安全保障體制論(日本中期防衛力整備計畫 (2014年平成26年度~2018年平成30年度) について)	
4	107/10/01~ 107/10/07	安全保障與power(2015年日本と東アジア戰略概観)	
5	107/10/08~ 107/10/14	核與安全保障(2015年日本防衛白書)	
6	107/10/15~ 107/10/21	政軍關係論civilian control(2015年中国安全保障報告書)	
7	107/10/22~ 107/10/28	現代爭端管理(2013年日本内閣官房長官談話および中国の2014年度国防予算について)	
8	107/10/29~ 107/11/04	安全保障的非軍事面(2015年日本新安保法制)	
9	107/11/05~ 107/11/11	非傳統安全與安全保障(2015年日本武器輸出三原則到防衛裝備移轉三原則)	
10	107/11/12~ 107/11/18	聯合國與安全保障(2015年日本平成27年度上半期の緊急発進実施状況について)	
11	107/11/19~ 107/11/25	國際法與安全保障(2015年南シナ海における中国の活動)	

12	107/11/26~ 107/12/02	後九一の安全保障(2014年日本平成26年度以降に係る防衛計画の大綱について)	
13	107/12/03~ 107/12/09	戦後日本の安全保障政策(2016年平成28年日本中谷防衛大臣 年頭の辞)	
14	107/12/10~ 107/12/16	日本防衛計画大綱(2014年日本防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画 パンフレット)	
15	107/12/17~ 107/12/23	日本安全保障政策原則(2013年日本平成25年国家安全保障戦略について)	
16	107/12/24~ 107/12/30	日本安全保障関連法制(日本防衛力の在り方検討に関する中間報告について)	
17	107/12/31~ 108/01/06	日美同盟(2014年「4年毎の国防計画の見直し」(QDR))	
18	108/01/07~ 108/01/13	日本の集団自衛権(2015年日本憲法與集団自衛権行使新三要件および大規模演習「ヴォストーク2014」について)	
修課應 注意事項	上課認真負責、報告認真準備、能獨立思考		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本	胡慶山著、当代國際法戰略關係下的台灣問題(稻鄉出版社、2015年) 安全保障學入門新訂第四版/防衛大學校安全保障學研究会編著、武田康裕+神谷 万丈責任編集、亜紀書房、2011		

<p>參考書籍</p>	<p>森本敏の眼：†b 日本の防衛と安全保障政策 / †c 森本敏著東京：クラフ社，平成 17 [2005]          オスプレイの謎. その真実 / 森本敏著.東京：海竜社，2013.8.          日本の瀬戸際：東アジア最大の危機に日本は生き残れるか / 森本敏著東京：実業之日本社，2011.          漂流する日米同盟：民主党政権下における日米関係 / 森本敏監修.東京：海竜社，2010.          安全保障論：21世紀世界の危機管理 / 森本敏.東京：PHP研究所，c2000.          日本防衛再考論：自分の国を守るとのこと = Reconsideration on Japan's defense policy / 森本敏著東京：海竜社，2008          岐路に立つ日本の安全：安全保障・危機管理政策の実際と展望 / 監修森本敏.東京：北星堂書店，2008.          ミサイル防衛：新しい国際安全保障の構図 / 森本敏編.東京：日本国際問題研究所，2002          イラク戦争と自衛隊派遣 / 森本敏編東京都：東洋経済新報社，2004          早わかり国民保護法 / 森本敏,浜谷英博著東京：PHP研究所，2005          安全保障学入門新訂第四版/防衛大学校安全保障学研究会編著、武田康裕 + 神谷万丈責任編集、亜紀書房、2011          安全保障政策/ 山本武彦、日本経済評論社、2009          地政学と国際戦略、新しい安全保障の枠組みに向けて/ 浦野起央、三和書籍、2006          日本の安全保障と防衛政策/ 谷内正太郎編、ウエッジ、2013          教科書・日本の安全保障/ 田村重信、杉之尾宜生編著、芙蓉書房、2004          日本の安全保障政策/ 西川吉光著、晃洋書房、2008          教科書・日本の防衛政策/ 田村重信、佐藤正久編著、2008          日本防衛再考論/ 森本敏著、海竜社、2008          日本の再軍備への道/ 柴山太著、ミネルヴァ書房、2010          対立深まる南シナ海進む日米越比協力・年報アジアの安全保障2015-2016/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2016          再起する日本・緊張たかまる東・南シナ海・年報アジアの安全保障2014-2015/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2015          混迷の日米中韓 緊迫の尖閣、南シナ海・年報アジアの安全保障2013-2014/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2014          アジアの安全保障2011-2012/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2012          民主化後の台湾 その外交、国家観、ナショナリズム/ 河原昌一郎著、彩流社、2016          東アジアの火薬庫中台関係と日本/ 山本勲、丸山勝著、藤原書店、2001          安倍政権と安保体制/ 田村重信著、内外出版、2015          検証安保法案/ 長谷部恭男、有斐閣、2015</p>
<p>批改作業 篇數</p>	<p>篇 (本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫)</p>
<p>學期成績 計算方式</p>	<p>◆出席率： 70.0 %   ◆平時評量：10.0 %   ◆期中評量：10.0 %          ◆期末評量：10.0 %          ◆其他〈 〉： %</p>
<p>備考</p>	<p>「教學計畫表管理系統」網址：<a href="http://info.ais.tku.edu.tw/csp">http://info.ais.tku.edu.tw/csp</a> 或由教務處首頁〈網址：<a href="http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php">http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php</a>〉業務連結「教師教學計畫表上傳下載」進入。  <b>※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。</b></p>